

6月23日

開会

〈挨拶〉

山口 浩一郎 ((社)日本労使関係研究協会会長・上智大学名誉教授)

〈準備委員長報告〉

荒木 尚志 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

自由論題セッション

○第1会場

〈司会〉

中村 圭介 (東京大学社会科学研究所教授)

荒木 尚志 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

〈報告者〉

(1)野畠 真理子 (都留文科大学文学部教授) 「米国のコーポレートガバナンスとCSRの歴史的変遷の研究」

(2)井波 洋 (同志社大学大学院社会学研究科博士課程) 「労働者代表制論の今日的意義—集団的合意形成プロセスとしての産業民主制に関する試論」

(3)崔 碩 桓 (東京大学大学院法学政治学研究科博士課程) 「韓国における非正規労働者関連立法の制定・改正」

(4)長谷川 珠子 (日本学術振興会特別研究員) 「日本における障害を理由とする雇用差別禁止法制定の可能性—障害をもつアメリカ人法(ADA)を手がかりとして」

○第2会場

〈司会〉

清家 篤 (慶應義塾大学商学部教授)

〈報告者〉

(1)齋藤 奈保 ((財)社会経済生産性本部副主任研究員) 「クリエイティブ人材をめぐるエンジニアメント機能の可能性」

(2)金 明 中 (日本経済研究センター研究員) 「社会保険料の増加と企業の雇用管理に関する分析—日本の上場企業のパネルデータ

(1984~2003年)を利用して」

(3)馬 欣欣 (慶應義塾大学COE研究員) 「中国におけるレイオフ失業と再就職後の賃金における女性のペナルティー—2002年中国都市家計調査のミクロデータを用いた実証分析」

○第3会場

〈司会〉

守島 基博 (一橋大学大学院商学研究科教授)

〈報告者〉

(1)藤原 真砂 (島根県立大学総合政策学部教授) 「仕事と子育て行動にみる子育て世帯の生活時間構造」

(2)願興寺 豪之 (南山大学大学院ビジネス研究科教授) 「職場レベルにおける労働組合の経営参加的関与の意義—S社における実証的研究」

(3)西村 孝史 (一橋大学大学院商学研究科博士課程) 「就業形態の多様化と格差—ワーキングパーソン調査2006の分析」

パネルディスカッション「雇用システムの変化と労働法の再編」

〈司会〉

荒木 尚志 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

〈パネリスト〉

(1)樋口 美雄 (慶應義塾大学商学部教授) 「経済学から見た労働市場の二極化と政府の役割」

(2)濱口 桂一郎 (政策研究大学院大学教授) 「労働立法プロセスと三者構成原則」

(3)中村 圭介 (東京大学社会科学研究所教授) 「逸脱? それとも変容? —労働政策策定過程をめぐって」

*論文タイトルは会議開催時のもの

2007 年労働政策研究会議準備委員会

準備委員長	荒木 尚志	東京大学大学院法学政治学研究科教授
準備委員	清家 篤	慶應義塾大学商学部教授
	中村 圭介	東京大学社会科学研究所教授
	守島 基博	一橋大学大学院商学研究科教授
アドバイザー	山口浩一郎	(社)日本労使関係研究協会会長・上智大学名誉教授
事務局長	楠 貞雄	(社)日本労使関係研究協会事務局長

